

平成28年度 相談内容分析（平成28年11月～29年2月）

瑞穂区東部いきいき支援センター

瑞穂区東部いきいき支援センターでは、平成28年11月から相談内容の集計及び分析を始めました。平成28年度の集計は年度途中で開始したこともあり、正確な数は把握できないことが予想されますが、学区によって困りごとや相談に来る方の特性が掴めないかという仮説のもと行っています。（集計値は、本所・分室それぞれの相談数の合計です。）

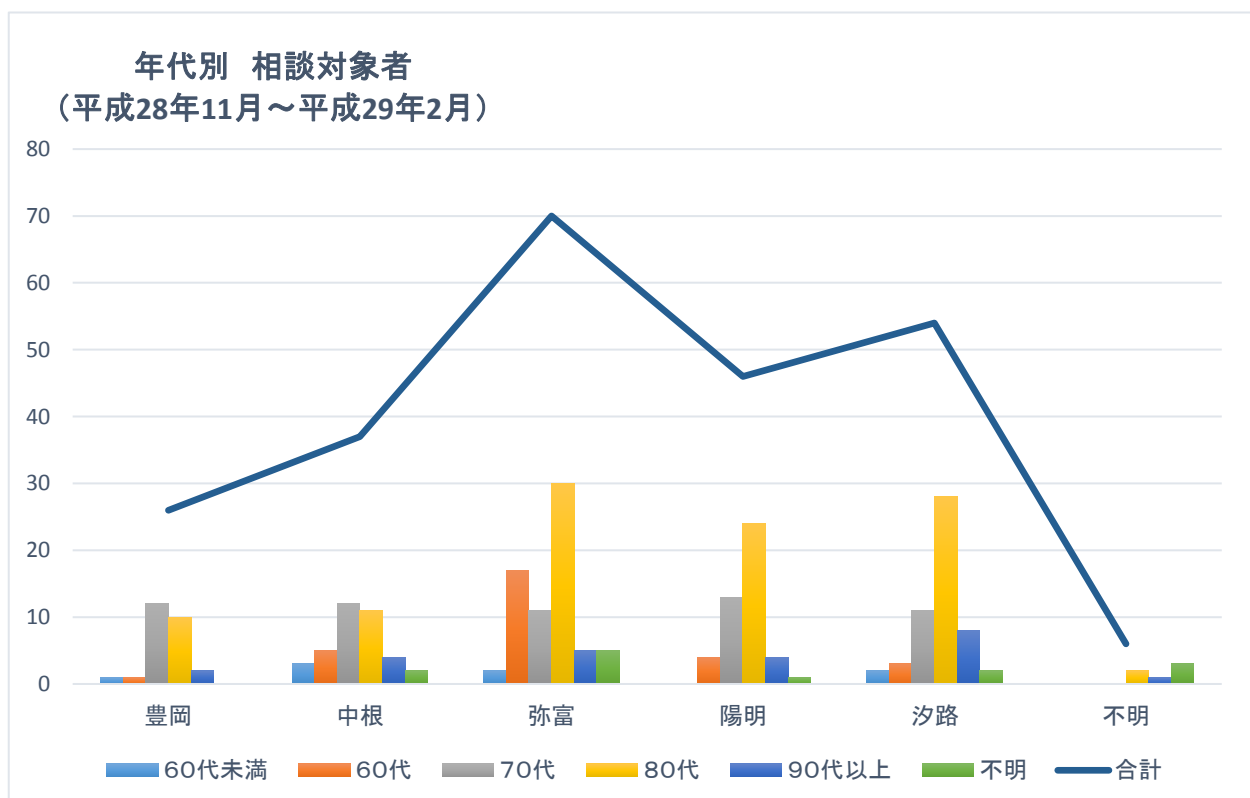
今回の集計によって、以下4点のことがわかりました。

- 相談件数が弥富・汐路学区が多いのは、それぞれの学区がセンター設置地区。
- 対象者となる年齢は豊岡学区以外の汐路・中根・弥富・陽明学区では、80代の方に関する相談が多い。
- 相談内容はどの学区においても介護保険に関する相談がもっとも多い。
- 認知症の診断の有無は、いきいき支援センターへの相談時には不明なことが多く、「認知症はない」対象者も多い。

上記の結果から、「在宅生活を送っている方のうち、80代になるとなんらかの支援が必要となってくる方が増えてくる。また、その方々は介護保険制度の利用希望が、いきいき支援センターへの相談のきっかけとなるが、“認知症はない”か“不明”の段階で相談されることが多い。」ことが推測されます。

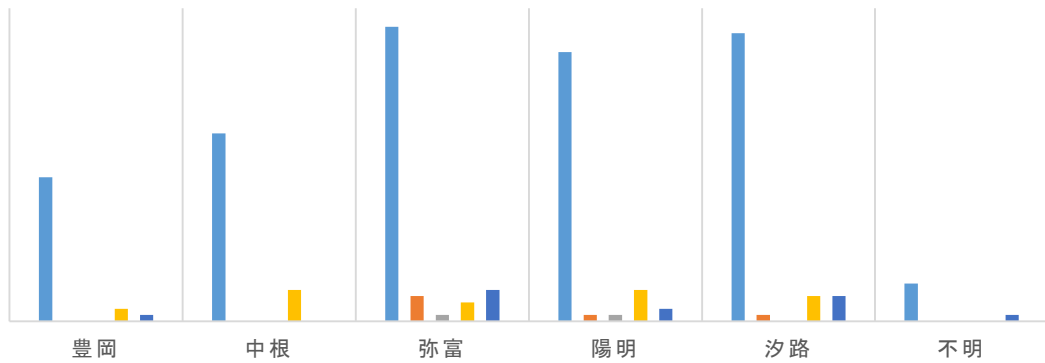
このような分析を行いながら、高齢者の相談窓口として区民の方に広くいきいき支援センターを知ってもらおうべく、引き続き方策を考えていきます。

【相談件数 計225件】



相談内容 内訳:複数回答 (平成28年11月～29年2月)

■ 介護保険・総合事業 ■ 地域関係 ■ 権利擁護・消費者被害 ■ 対象者個人の健康・生活不安 ■ その他



相談対象者 認知症診断の有無 (平成28年11月～29年2月)

■ 認知症なし ■ 診断あり ■ 診断なし ■ 不明

